

「自分のこと」として考えさせる 情報モラル教育

～「GIGAワークブックふくおか」を
活用した授業実践を通して～



出典：福岡県庁ホームページ「活用型情報モラル教材」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/gigawbf2023.html>

カード分類比較
法を使って「自分
のこと」として考
えさせる授業

情報モラルと
活用スキルを
効率的に指導

これまで

禁止事項指導型 「何が危険か」

- ・ネットは危険
- ・自分は関係ない
- ・なんか怖そう
- ・自分は大丈夫

指導上の課題

当事者意識を持たせることが難しい
ネット利用にネガティブな印象を持たせがち

これから

危険予知トレーニング型 「どのくらい危険か」

- ・危険を理解して、よりよく使おう

教材にある「カード分類比較法」を使って「自分のこと」として考えさせる

①日常生活上の身の回りの話題（日常モラル）

○人によって受け取り方が違うことに**気づかせ、考えさせる**

自分と相手とのちがい

1 あなたが、クラスの友だちから言われて「いやだな」と感じる言葉の一つを選んでみましょう。

1 まじめだね	2 おとなしいね	3 いっしょうけんめいだね	4 こせいで個性だね	5 マイペースだね
------------	-------------	------------------	---------------	--------------

②ネット社会上の身の回りの話題（情報モラル）

○人によって優先順位が違うことに**気づかせる** *人によってどのくらい危険か
○優先順位の意図を**議論する**

1 あなたが、SNS等でクラスの友だちからされて「いやだな」と感じる順にならべてみましょう。

1 すぐに返信が来ない	2 なかなか会話が終わらない	3 知らないところで自分の話題が出ている	4 話をしているときにケータイ・スマホをさわっている	5 自分が一緒に写っている写真を公開される
----------------	-------------------	-------------------------	-------------------------------	--------------------------

いやだ ← → いやではない

インターネットを適切、安全、上手に活用する力を身に付けた子どもを育てる3つの手立て

(1) 子どもの実態に応じた育成計画の作成

小学校

	学年	教材名
ピギナー版	1年生	たんまつを上手に活用しよう
	2年生	使いすぎているかな①or②
	3年生	自分と相手とのちがい 使いすぎているかな③
スタンダード版	4年生	使いすぎているかな②
	5年生	自分と相手とのちがい
	6年生	社会の変化と情報モラル 写真を公開する前に

中学校

学年	教材名
中1	社会の変化と情報モラル
	自分と相手との違い
中2	こんなつもりじゃなかったのに
	災害時の SNS の使い方①
中3	生活を見直そう [情報モラル]
	災害時の SNS の使い方②

上記の教材を活用した情報モラル指導と日常モラル指導（道徳科、特別活動）との関連を意識した育成計画の作成が重要

(2) 授業実践

①カード分類比較法で他の人との考え方の違いを可視化

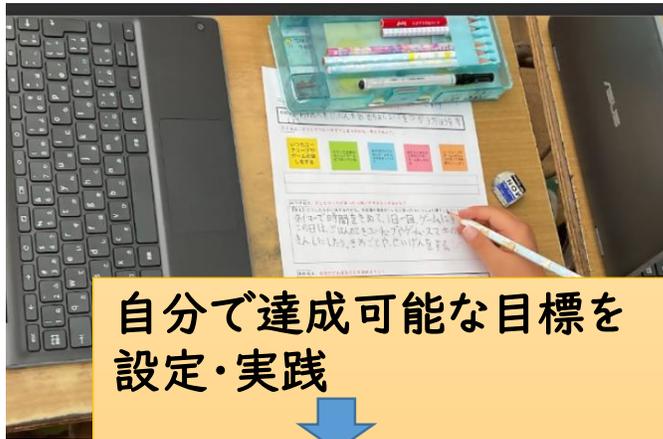
②多面的・多角的に考えさせる発問

③「どのくらい危険か」を考える議論が活性化

(3) 保護者への情報発信

○学習の様子を学級通信等でお知らせし、保護者からのコメントをもらうことで、「自分のこと」として意識して、決めたことを実行していく意欲を高める

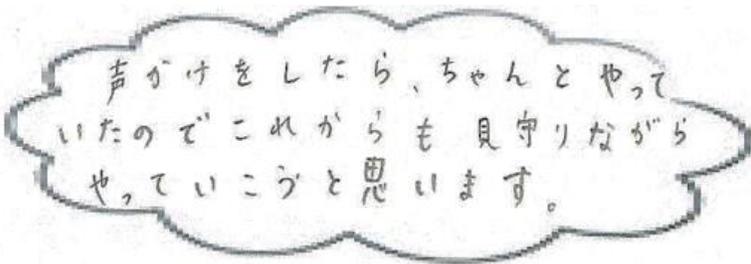
【小学校の実践から】



自分で達成可能な目標を設定・実践



児童の実践状況について保護者からコメント



【中学校の実践から】



責任を果たすための My 宣言

友だちの意...
かをしっかり...
ないようにし...
たい。

LINE など...
はなくその言...
いになったと...
文字をグル...
を果たすこと...
さん

責任を...
分けて責任を...
とれるのか、...
ジを送る前「...
これしてい...
した。...
さん

リ...
じやなかった...
のに...
で...
から無視をし...
ているみた...
さん

して...
から送るのが...
責任...
とい...
さん

いる...
ことが合っ...
ている...
さんが苦手...
でも批判をし...
さん

学習内容や生徒の振り返りを学級通信等で発信



保護者からコメント

氏名 _____

保護者の方からのコメント

生徒がインターネットやソーシャルメディアの情報を正しく扱うためには、親も一緒に学び安全に活動できるように支援していきたいです。

「自分のこと」として考えさせる情報モラル指導を行うために

「GIGAワークブックふくおか」を活用すると

- ・「情報モラル」と「上手な情報活用スキル」とを関連させて、**効率よく**指導することができる。
- ・「**カード分類比較法**」を活用して、「**自分のこと**」として考えさせることができる

より「自分のこと」として考えさせるためのポイント

- ・児童生徒の実態、他教科の指導内容と関連させた教材選択
- ・多様な考えの違いを可視化し、討論する活動の充実
- ・保護者と連携した、継続的な取り組み

